

特別支援学校

自立活動

単元【 ことば／かず : 文章と絵から読み取ろう 】

主体的・対話的で  
深い学びのポイント

表現豊かなタブレットの機能を活用し、描かれた絵や文章を1人1人のiPadに提示することに、主体的に登場人物の気持ちを考えたり、書いたりすることができる。

ICT活用のポイント

タブレットを直接さわって操作し、主体的に考えることをとおして、登場人物の気持ちを理解することができる。

使用する  
ICT機器

iPad , Apple TV , テレビ

使用するアプリ・  
クラウドサービス等

Keynote , Googleドライブ

クラウド  
の活用教材の配布・回収等  
生徒の学習状況の把握資料等の共有  
その他 ( )本時の  
ねらい

絵や文章から、登場人物の気持ちを読み取ることができる。

主な学習活動  
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

○本時の目標を  
確認する

一斉

事前にKeynoteで作成したスライドを  
Googleドライブに保存し、導入の際、  
テレビモニターに提示する。

クラウド

○課題を提示し、  
確認する

一斉

課題をテレビモニターに提示する。  
・事前にKeynoteで表示する文章や絵を作成し、  
児童生徒が考えを深めるポイントを  
焦点化する。

クラウド

指針3

一人ずつ文章を読み、表示されている内容  
について、考えを膨らませる。

展開

○課題に  
取り組む

個別

あらかじめ三択で回答できる課題を  
Keynoteで作成し、児童生徒のiPadに  
保存する。絵や文章からどのような気持ち  
を表しているか読み取り、回答を選  
び、iPadをタッチして答える。

指針4

ここで評価

【思】

質問の意味を理解し答えること  
ができる。→アニメーションと音声の流れ、  
ゲーム感覚で問題に取り組むこと  
ができる。→間違えた問題をモニターに表示し、  
読み取ることができなかったか箇  
所を、教師が解説する。

クラウド



終末

○本時の  
振り返り

一斉

再度問題を提示し、答えを確認する。  
・絵や文章を児童生徒にモニターに表示することで、  
振り返り活動の内容の充実を図る。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】 = 知識・技能 【思】 = 思考・判断・表現 【態】 = 主体的に学習に取り組む態度